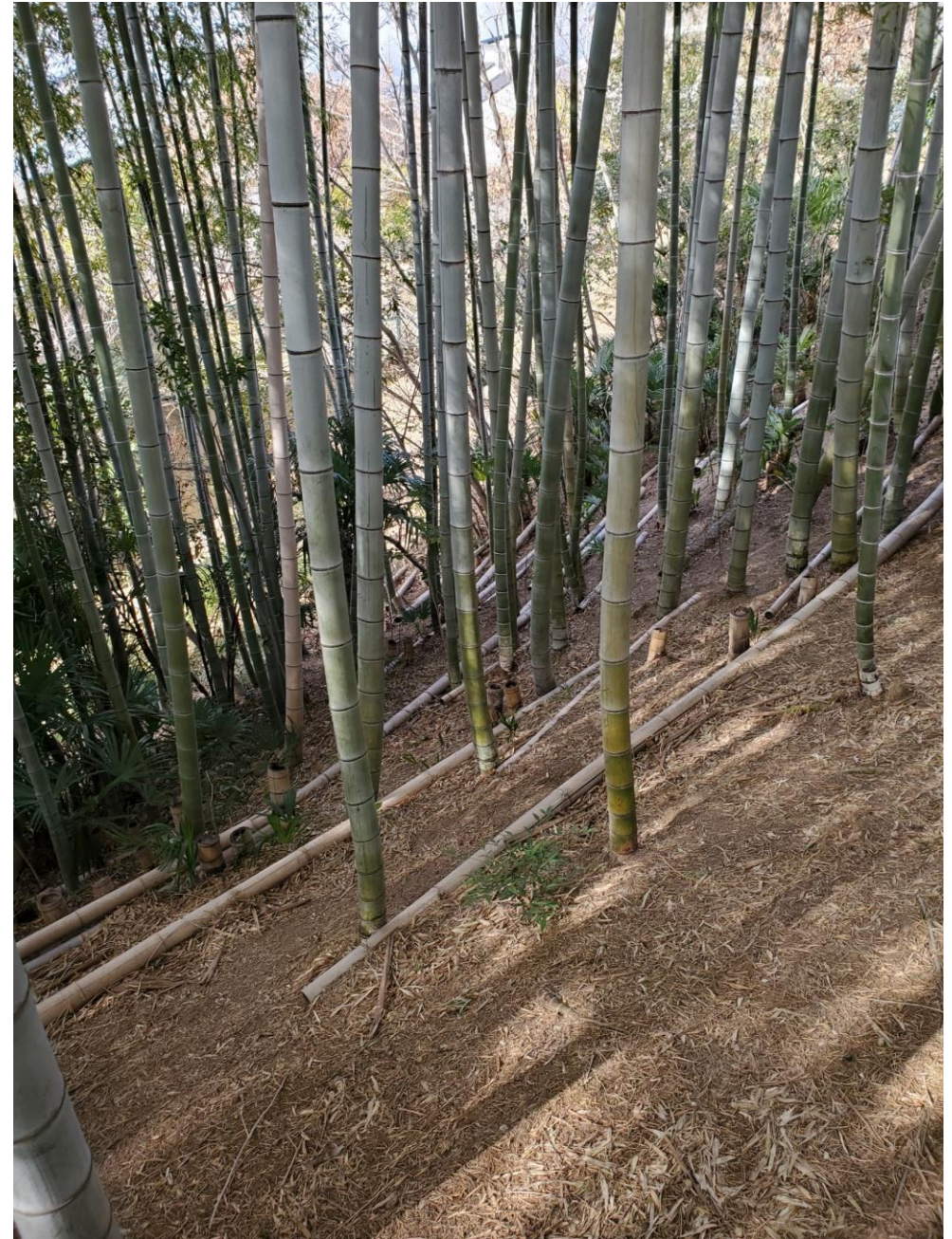


第18回

「とよなかエコ市民賞」

千里森もりクラブ

～豊中に今ある森を
より生態系豊かな森へ～



スタートは？（～2014）

- ・「ナラ枯れ」調査実施中
市跡「島熊山窯群」南側
（千里緑地第3区）
- ・暗く荒れた竹林～危険
で調査に入れない。
- ・鳥の声も聞こえない。



近隣住民より

「何とかして欲しい」

- ・近隣住民より
「竹林内が荒れている」
「暗い、怖い」
「放置ごみも著しい」



活動前の竹林は？

- 密生し人が入れない。
- 倒れた竹が折り重なる。
- 薄暗く、放置ごみだらけ。



市と相談～整備活動を開始

- ・市と「自主管理協定」締結。
- ・2014年1月～活動開始
- ・近隣の住民、清掃活動グループに呼びかけ。



整備計画を立てる (2015, 1)

- ・第3区の東・西2区域の、東側を整備する。
- ・整備期間を2015年から約9年間とする。
- ・検討課題として「竹林とする」「雑木林とする」「竹林と雑木林の並存とする」が提起される。



活動開始（第1期整備）

- ・活動を開始すると近隣からの参加者徐々に増加
- ・初めて整備作業を行う人
～小班にわけて作業を実施～



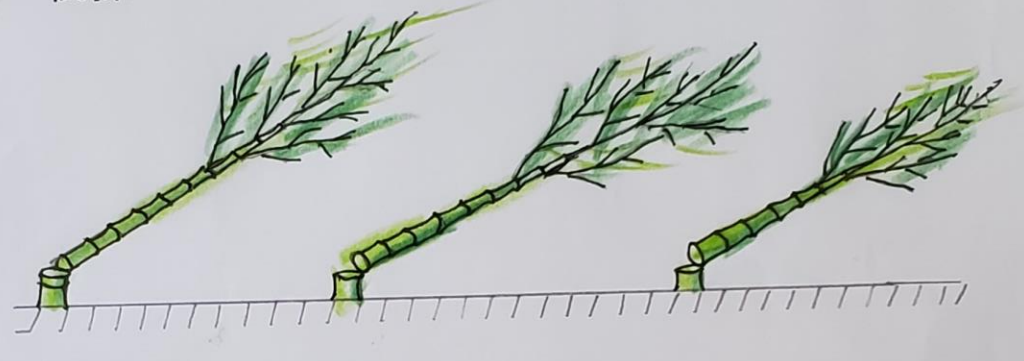
実際の作業は？

- ・竹の伐採方法確認。
- ・枝払いの方法確認。
- ・所定の長さ（玉切り）する。
- ・美しく集積する。



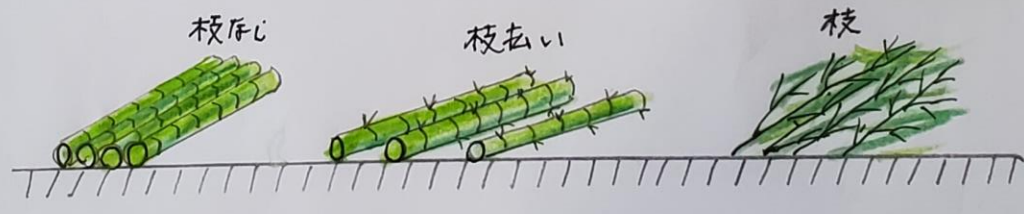
伐採竹（立ち枯れ、倒竹をふくむ）の集積方法

① 伐採

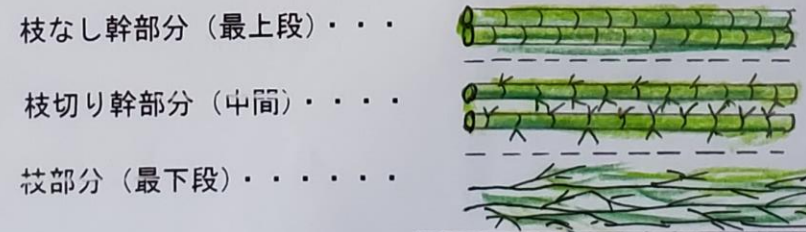


② 玉切り竹の仮置き（後工程を考えて3区分）
（枝なし幹部分、枝払い幹部分、枝部分に分けて）

見栄えよく集積するためのコツです。



③ 集積（基本的な積み方：この積み方が好ましい）



作業の手順を共有

伐採⇒枝切り⇒集積


大切なことは

- ・安全に、楽しく。
- ・いざの時のためボランティア保険へ加入。
- ・集積スペースの設置が重要。



第2期整備（2015, 7～）

2015.7.15
千里森もりクラブ



1 はじめに
第1期竹林整備がほぼ終了したので「第2期竹林整備区域」の各班担当区域・作業方法などの概要を次に示す。

2 各班担当区域の割り振り
・1班から4班までをその順番で割り振る。
・基点から南に約9mを1担当区域とする。
（3m玉切り目安棒×3回）
・班と班との境界は担当区域班を示すポールを立てる。

3 整備作業の方法
・各班リーダーの指導のもとに作業する。
・「雑木林管理作業手順書 S-05」の手順に従って、3mに玉切りした竹を積み上げる。
・「竹杭」を打ち込む代わりに「青竹」そのものをうまく利用する。
・「枝」が立ち上がらないように上側には「3m玉切り竹」を置いて、最終的に枝が見えないように工夫する。
・「第2期竹林整備区域」には北部分、西部分や中央部分に斜面があるので、「集積場所」（積み上げ場所）としてうまく利用する。
・どこをどんなふうにご利用するかは各班リーダーの判断による。（全員で話し合う）。
・この区域は「立ち枯れ竹」、「伐採枯れ竹」、「青竹」密集しているので、**安全には十分注意する。できれば「保護めがね」をかける。**
・集積の高さは、「高さ目安棒」にとられず、その周辺の状況を見て適宜判断する。
・「2重連」、「3重連」および「2段連」、「3段連」などうまく組み合わせて集積する。

第3期整備 (2017, 4～)

千里森もりクラブ通信 第6号

2017(平成29).4.30 発行
千里森もりクラブ
豊中市北緑丘 3-1 30-101
電話: 06-6849-2435

1 あいさつ

若葉薫る清々しい季節になりました。
若竹間伐作業もそろそろ終盤に入ろうとしています。今年は「裏作」と言われていた若竹ですが、何の何の。4月の3週目には林内の作業道で立ち止まると、周りに5~6本は顔を出していて、私たちの千里緑地第3区は「大豊作」のように思えます。皆さん、掘りあげるのも大変、集積場まで運ぶのも一苦労、人数に分けるのも量が多くて数人で手分けし、家まで持ち帰るのも体力が要ったように思います。本当にお疲れ様でした。

「千里の歴史と伝統20話」では、千里の筍は京都山城の筍と並んで高級品で、3月末から4月中旬まで、地上に顔を出さないものを出荷したと書いてあります。千里のお百姓さんは、水不足で米の出来高が悪く、それを補うために桃や筍を栽培し、最盛期には毎日トラック4~5台で、卸売市場へ運んだようです。

5月から新しい区域での作業が始まります。1年後、2年後の陽が差し風が通る林を目指して、協力して進めてまいりましょう。
(代表 易 信子)

2 定例活動報告

(1) 竹林の整備 (伐採枯れ竹及び立ち枯れ竹の整理、青竹の間伐など)

第35回 10月定例活動 2016.10.19 (水) 9:30~11:45 天気:晴 参加者:22人
各班担当区域の青竹の伐採と集積であった。「第2期区域」は昨年10月に始めたのでちょうど1年を経過したことになる。作業は順調に進んでいる。

第36回 11月定例活動 2016.11.16 (水) 9:30~11:45 天気:晴 参加者:18人
第2期整備区域もそろそろ終盤に差し掛かっている。林床の放置竹も片付き、伐採竹も玉切されて集積され風通しも良くなってきた。太枝切はさみは、小さい力で効果抜群である。4班はまだ暗い状態で、後2、3回は必要である。

第37回 12月定例活動 2016.12.21 (水) 9:30~10:30 天気:晴 参加者:20人
11月に引き続き青竹の伐採と、集積である。

第38回 1月定例活動 2017.1.18 (水) 9:30~11:45 天気:晴 参加者:18人
第2期区域の伐採である。

- 1班:小山斜面の土砂が崩れないように土止めを兼ねて下部に竹を積む。
- 2班:西側を明るくする。

整然としています。

竹林には見違えるほど陽の光が差し込むようになり、とても美しい景観です。地面にはいくつもの筍が顔を出しています。いかにも健康な竹林からの春の恵みです。鬱蒼とした竹林を美しい竹林に戻すためにまた頑張ろう!という気持ちになります。リーダーがよく仰る言葉に「無理をせず、頑張らず、ゆっくりでいいからずっと続けること」。心して励みます。
(藤原 直美)

6 千里緑地第3区の竹林整備状況

豊中市と本会とで締結した「協定書」の千里緑地第3区の概要は次の通りです。竹林は「A区域」と「B区域」とに分かれています。



1 A区域

- (1) 第1期整備期間
・2014.1~2015.9
- (2) 第2期整備期間
・2015.10~2017.6
- (3) 第3期整備予定期間
・2017.7~2019.6
・当区域の広さや地形、伐採放置竹、青竹、参加者数によって予定期間を超える場合もある。
- (4) 第4期整備予定期間
・2019.7~2021.6
・A区域最後の整備になる。本区域は尾根筋から東側が急斜面になっているので作業がしにくい。

2 B区域

- (1) 第5期整備予定期間
・2021.7~2025.6
・次の指導者を育成していく必要がある。



第4期整備 (2019, 3~)

「第4期竹林整備区域」の整備作業計画

2019 (H31) .3.20
千里森もりクラブ



1 はじめに

- ・第3期竹林整備区域は、2017.3.15 から 2019.3 月までの2年間を予定していたので、計画どおり終了。
- ・3月に「第4期竹林整備区域」の割り振りをする。

2 各班担当区域の割り振り

- ・1班から4班までを、起点からその順番で割り振る。
- ・1区域は約9mとする (3m玉きり目安棒×3)。
- ・班と班との境界に番号を書いた表示板をぶら下げる。

例 1 × 4~5 2 3 4

3月作業日に区割り作業を行う。班につき2、3人出る。1班の表示板は取り付け済み (修正する)。

3 整備期間

- ・2019.5~2021.5 までの2年間を予定。
- ・当区域の大きさや参加者数、地形などによって作業の捗に差が生じた場合には、遅れている班を他の班が支する。

4 作業上の注意

- ・立ち枯れ竹や伐採放置竹が多い。
- ・作業しにくい場所もあるので、安全には十分気を付け
- ・竹のしなり具合・地形 (平地、斜面など) ・作業者の込み具合などを確認して、倒す方向を決める。
- ・竹を倒すときは、「大声で倒れる方向」を指示し、作業者を退避させる。
- ・安全確保: 「ヘルメット」着用

屋根
3m玉切り用棒
斜面 3m x 3m

コロナ後の2022年より第3区 西側整備に着手（第5期）



そして、今の竹林は

- ・活動開始から10年
- ・倒竹、放置竹は一掃
- ・見通しがよくなり、風が通る林に
- ・鳥の声が聞こえ、蝶も飛ぶ



近隣住民からは

- 竹林が美しくなった
- 一緒に作業したい
- 散歩の路にしている



そして広くなった林床には

- ・オカトラノオ
- ・ツルボ など



本来の「雑木林」の先駆けが

- ・明るい林床にコナラの実生



これからの竹林は・・・

- ・人の手が入ってこそその里山。
- ・整備された竹林では若竹。
- ・もっと先には「竹林と雑木林並存」や「雑木林」を考えながら活動を継続したい。



千里森もりクラブは新規
会員を募集しています。

「ご清聴」有り難うございました。

～終わり～